回覧

アクティヴ　レディース

令和７年度
第２号

刈谷市女性の会連絡協議会情報誌

県内研修会５月２１日（水）

女性の会22名（役員5名、地区代表者17名）が参加し、研修と交流を目的に豊田市防災学習センターと豊田市民芸館に行ってきました。

豊田市防災学習センターで防災体験＆防災学習

豊田市防災学習センターで風速30mの暴風体験、震度6強の地震体験、消火体験、火災を想定した煙脱出体験をしました。
災害時の備蓄品の展示もあり、普段から準備している人も出来てない人も家庭内の備蓄品について改めて考えるいい機会になったと思います。
とても有意義な時間を過ごしました。

行きのバスの中ではレクリエーション委員会による、刈谷市をもっとよく知るためのバスレクが行われました。大きな白地図を使い、参加者からお住まいの各地区の特徴や自慢を熱く紹介していただきました。

青少年育成募金にご協力下さい

各地区の皆様方には日頃より募金活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。
本年度も募金期間を6～11月としております。
皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

◆◇◆ 表彰されました ◆◇◆

5月29日の刈谷市制施行75周年記念式典にて当連絡協議会が表彰されました。

多年にわたる育成募金活動が評価された事を嬉しく思います。引き続き、青少年の健全育成と地域社会に貢献するため、この活動を継続していきます。

自主講座６月４日（水）

段ボールコンポストってなあに

講師：武田生子 氏（ナチュラル・リターンクラブ）

今年もナチュラル・リターンクラブの武田先生他2名の講師の方たちによる段ボールコンポストの講習会が開かれました。
刈谷市女性の会での取り組みは今年で5年目になります。
段ボールコンポストは生ゴミを燃えるゴミにせず、段ボールに入れた基材(椰子殻チップ・もみ殻燻炭)に入れて混ぜ、堆肥にすることで環境にも優しくゴミを燃やす時のエネルギーを削減することにもなります。
今後はLINEで情報交換をしながらそれぞれ自宅で循環生活に取り組んでいきます。

女性リーダー研修会７月２日（水）

令和6年能登半島地震におけるこころのケア活動について

講師：大渡佳世 氏（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 看護部副部長）

令和6年能登半島地震の際、講師の大渡氏が実際に現場で従事された活動の一つ、PFA（心理的応急処置、こころの救急法）について学びました。被災者が気持ちを落ち着かせ困難を乗り越えることを支援する手法です。物質的な支援と合わせて心理的な寄り添う支援が必要とされる事、自然災害の状況下では皆が被災者で、支援をする立場の方（行政職員など）への情緒的支援が行き届かない場面がある事も知ることができました。

また、健康生活支援講習指導員によるハンドケアとリラクゼーションの手技紹介もありました。
聴講者が壇上で施術を受け、とても心地良くリラックスできたと感想を述べられました。
最後に、災害に備えるためには平時から地域住民同士で支え合うことの重要性も教えていただきました。

令和7年度『女性の会』では、役員を中心に全体での活動の他、各地区代表者が生活文化委員会とレクリエーション委員会の2つの委員会に分かれ、それぞれの役割を分担した活動も行っております。他地区との交流により、より良い地域活動をめざしています。

【刈谷市女性の会連絡協議会】
ホームページも是非ご覧ください
https://kariyashijyoseinokai.com/

～ 編 集 後 記 ～

『女性の会』の研修会や自主講座をとおして、相互理解や互助の活動について改めて考えさせられました。
私達が少しずつ知恵と力を出し合えば、住みよい社会が維持発展できると思いました。